

ななお催時記

8月13日(月)～9月9日(日)

月	火	水	木	金	土	日
○平和写真パネル展【中島市民センター会場】(8月16日まで) ☎総務課 ☎53-1111 ○愛の献血 ☎福祉課 ☎53-8463 13	○能登ふるさと博第6回さざなみ夢花火納涼漁まつり2012 ☎観光交流課 ☎53-8424 ○新宮納涼祭 ☎観光交流課 ☎53-8424 14	15	16	○第8期「のと・七尾人間塾」塾生申込締切日 ☎のと・七尾人間塾運営委員会 ☎53-8565 ○星空を観察しよう ☎環境安全課 ☎53-8421 17	○要約筆記入門講座(毎週土曜日9月15日まで) ☎福祉課 ☎53-8464 ○国保特定健診 ☎保険課 ☎53-8420 ○丘にあふれるガラス玉の海で遊ぼうINガラ美パーク(8月26日まで) ☎能登島ガラス美術館 ☎84-1175 ○ナイトインサマーやたごう ☎矢田郷公民館 ☎52-5240 18	○ホームヘルパー2級講習会 ☎子育て支援課 ☎53-8445 ○ガラ美キッズ「1日こども学芸員」 ☎能登島ガラス美術館 ☎84-1175 ○第24回七尾城山クリーン大作戦 ☎矢田郷公民館 ☎52-5240 ○長谷川等伯展特別講演会 ☎七尾美術館 ☎53-1500 19
○七尾市文化産業賞の推薦受付締切日 ☎秘書人事課 ☎53-1110 ○夏やすみ・のとしま子どもキャンプ第3回(8月22日まで) ☎観光交流課 ☎53-8436 20	○手話奉仕員養成講座(入門)(毎週火曜日12月11日まで) ☎七尾市社会福祉協議会 ☎52-2099 21	22	○JAPANTENTin七尾(8月26日まで) ☎市民男女協働課 ☎53-8633 23	○市民ミュージカルワークショップ(8月26日まで) ☎能登演劇堂 ☎66-2323 ○ゆかいなラン科植物展(9月19日まで) ☎のと蘭ノ国 ☎54-0300 24	25	26
○日室の鎌祭り ☎観光交流課 ☎53-8424 27	○市長談話室 ☎広報広聴課 ☎53-8423 28	29	○和倉温泉短歌・俳句大会(8月31日まで) ☎観光交流課 ☎53-8436 ○海上保安大学校学生募集(9月11日まで) ☎七尾海上保安部 ☎52-9118 30	○児童扶養手当等医療費の現況届提出締切日 ☎子育て支援課 ☎53-8445 ○七尾市景観審議会の委員募集申込締切日 ☎都市建築課 ☎53-8469 31	○第3回シーカヤック能登島里海フェスティバル(9月2日まで) ☎観光交流課 ☎53-8436 9/1	○ホームヘルパー2級講習会 ☎子育て支援課 ☎53-8445 ○第2回文化講座近世七尾城下の寺院移動巡り ☎中央図書館 ☎53-0583 2
○自衛官(防衛大学校学生等)募集(9月5日、10月1日まで) ☎自衛隊石川地方協力本部七尾出張所 ☎53-1691 3	4	○自衛官(防衛大学校学生等)募集申込締切日 ☎自衛隊石川地方協力本部七尾出張所 ☎53-1691 5	6	○WAKURAサンセットクルーズ(9月9日まで) ☎和倉温泉観光協会 ☎62-1555 ○自衛官(一般曹候補生等)募集申込締切日 ☎自衛隊石川地方協力本部七尾出張所 ☎53-1691 7	○国保特定健診 ☎保険課 ☎53-8420 ○能登ふるさと博灯りであそぶ能登半島「田鶴浜あかりまつり」 ☎観光交流課 ☎53-8424 8	○想いよ、届け！全能登私の主張発表大会 ☎文化課 ☎53-8437 ○第7回七尾城跡ウォークラリー参加者申込締切日 ☎矢田郷公民館 ☎52-5240 9

内科・外科・眼科
旧 浜野病院
浜野クリニック
桜川沿い小島町バス停・県事務所横入り
☎ 52-3261

	診療時間	月	火	水	木	金	土
内科 外科	午前9:00～ 午後2:00～ 月火土5時迄 水木金6時迄	○	○	○	○	○	○
眼科	午前のみ	○	休	○	○	○	○

七尾駅から送迎バス運行中です
土曜日午後とも診療しています

境界問題解決支援
大岡登記測量事務所
七尾市小丸山台2丁目66番地
☎ 53-3490

大岡登記測量 検索

<http://www.t-ooka.jp/>

**横山内科
皮膚科医院**

皮膚科 横山 文男
内科 横山 将嘉

御祓町 ☎53-0524

有料広告欄

七色の旅

第10回目のテーマは、毎年9月20日、異国情緒豊かに繰り広げられる奇祭「お熊甲祭」を紹介します。



異国情緒漂う秋祭り『お熊甲祭』

国指定重要無形民俗文化財・熊甲二十日祭の杵旗行事

昭和56年(1981年)1月21日指定

お熊甲祭

この祭りは久麻加夫都阿良加志比古神社(くまかぶとあらかしひこじんじや)・(熊甲神社)の大祭で、毎年9月20日に行われることから「二十日祭り」とも呼ばれています。

熊甲神社を本社とする末社が、古く熊木郷と呼ばれた土地の19社からくり出した神輿は、猿田彦の先導で、高さ20メートルの深紅の大杵旗やお道具をそろえ、「イヤサカサー」の掛け声と、鉦や太鼓の音も賑やかに、本社に参入します。

拝殿に全神輿が参入すると、本社では奉幣式(ほうへいしき)に移り、若衆が鉦や太鼓を打ち鳴らし、それに合わせて猿田彦が境内で乱舞します。

祭典後、本社之神輿を先頭に9月6日の「しらい」で決まったクジ順に渡御(とぎよ)が行われ、境内から700メートルほど離れた加茂原(かもはら)へと移動します。

お旅所である加茂原では、お練が行

われ、時計と反対廻りに3回廻ります。早廻りや杵旗を地面すれすれまで傾ける「島田くずし」とよばれる大技も披露され、祭りは最高潮に達します。

「島田くずし」とは

長大な杵旗を担ぎながら傾けて大旗を地面すれすれまで下げる場面が、祭りの見どころの一つです。島田とは娘が結う日本髪(しまたまげ)のこと、その昔、大旗の先端が祭り見物の娘の島田にあたり、その髪が崩れたことで名付けられたといわれています。

能登中島の杵旗祭り

実りの秋を迎えると町内の各集落では、1年間の五穀豊穡に感謝する秋祭りが9月4日から10月9日までの1カ月以上におよぶ期間で行われます。

鉦や太鼓の音が町内のどこかの集落から聞こえ、この地域は文字通り「祭り」一色となります。

秋祭りでは、20mを超える深紅の大旗を担いで練り歩きます。この地域の

くまかぶとまつり

くまかぶとはまつり

秋祭りは、全国でも見られない「杵旗祭り」として知られています。

杵旗祭りには、各集落の産土神社(うぶすな)の祭礼(小祭り)と中世からの由緒ある惣社を中心に各集落がより集う「寄り合い祭り(大祭)」があり、江戸時代以降、伝統として受け継がれています。

- 笠師祭 9月第2土曜日
- お熊甲祭 9月20日
- 新宮祭 9月22日(秋分の日)
- 六保祭 9月最終土曜日

「猿田彦」とは

日本神話で、天照大神の孫である瓊杵尊(にぎのみこと)降臨の際、先頭に立つて道案内したといわれる神様。顔赤く、鼻の高いのが特徴で、祭り行列の先導役を務めます。本祭礼では、鉦や太鼓のリズムに合わせて踊る姿がユーモラスです。

問 七尾市観光協会 ☎ 53—8424